

技術・家庭科（技術分野）の分析と改善策

1年

① 分析

項目	分析
生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり(作業)に対する興味・関心は高いが、その基となる設計(製図)などについて、十分に理解できていない生徒もいる。 ・目標を考えて授業に取り組んでいない生徒がやや多い。
生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・発想が豊かで、いろいろなアイデアをもっている生徒が多いが、その創造力が実際の製作に生かせるかを判断する能力は高くない。
生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・製作図作成のための製図の授業では、得意・不得意の差が大きく、作業時間や難易度に差がある。 ・技能に見合った作品を製作させる必要がある。
生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度や発問への応答、活発な発言から、期待通りの考査平均点が出ていた。設計のための基本知識を実際に生かすことはおおむね達成されている。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・基礎的・基本的な内容の充実を図るために、一層精選した指導内容を検討する。
- ・提示・板書を今まで以上に丁寧にし、分かりやすく説明をする。
- ・作品を完成させることができた喜びを味わえるよう、ポイントを分かりやすくまとめたプリントをつくり、ミスが少なくなるようにする。
- ・作業をグループ制にし、生徒同士で作業を確認し合い、完成度を高めていく。

2年

① 分析

項目	分析
生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の挙手・発言が多く、意欲的に授業に臨んでいる生徒が多い。 ・ものづくり(作業)に対する興味・関心は高いが、電気の基本知識についての学習には関心が薄い。
生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・白熱電球・蛍光灯・LED電球の違いなどの学習を通して、節電に対する意識や工夫する姿勢が高まった。
生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・はんだづけ作業にほとんどの生徒が興味をもつが、初めて経験する生徒が多く、技能的には十分ではない。 ・ラジオ製作に対して意欲的な生徒が多く、作業の上達度が早い。
生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の結果から見ると、理解力が深まっている生徒とそうでない生徒との2極化の傾向にある。 ・理解しようとする意欲は十分に伝わってくるが、定期考査の結果にはまだ表れていない。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・基礎的・基本的な内容の充実を図るために、一層精選した指導内容を検討する。
- ・ミスしやすいポイントを分かりやすく説明し、また練習基板を活用し、うまくはんだ付けが出来るよう指導する。
- ・板書以外に実験やワークシートを活用し、効果的に理解力を高める授業を行う。

3年

① 分析

項目	分析
生活や技術への 関心・意欲・態度	・創作スタンドの製作に関心をもち、ほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいる。 ・ものづくりに対する意欲が高く、授業態度もとても良い。
生活を工夫し 創造する能力	・作業のやり方を理解した中で、効率よく作業が出来るよう工夫している生徒が多い。
生活の技能	・はんだづけ作業にほとんどの生徒が興味をもつが、初めて経験する生徒が多く、技能的には十分ではない。
生活や技術について の知識・理解	・授業時数が少ない中で作業時間を確保しようとしたため、知識を定着させるゆとりがなく、定期考査の結果から知識の定着が十分ではない傾向が見られた。

③ 体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けるための工夫

- ・基礎的・基本的な内容の充実を図るために、一層精選した指導内容を検討する。
- ・作品を完成させることができた喜びを味わえるよう、ポイントを分かりやすくまとめたプリントをつくり、ミスが少なくなるようにする。
- ・板書以外に見本を見せたり、ワークシートを活用し、効果的に理解力を高める授業を行う。